社協だより うらが

発行所
浦賀地区社会福祉協議会
編集/広報部会
横須賀市東浦賀1－1－10
TEL.046－844－0294
印刷所
文明堂印刷株式会社

浦賀に残る鏝絵（こてえ）を訪ねて

シリーズ3

八雲神社～法幢寺～（渡船）～西叶神社～東福寺～川間町内会館

鏝絵とは左官職人が土蔵などの壁に鏝と漆喰で作り上げた手の込んだレリーフのことを言います。

江戸中期、干鰯問屋と廻船問屋で栄えた浦賀は土蔵造りが盛んに行われ、左官職人が沢山いたそうです。その末裔たちの漆喰鏝絵彫刻が外来者や通行人がよく見える場所で今も生き続けています。

●八雲神社（東浦賀1丁目）

浦賀駅から東浦賀方面に10分程歩くと、新町バス停手前に八雲神社の道標があります。路地を入ると突き当りの石段の上に八雲神社があり、その向拝（ひさし）に龍頭を中心に全身を丸型に造形された迫力ある龍の鏝絵が見られます。裏側に「左善」という刻銘があります。8代目「石川善吉」明治35年（1902）48歳の時の作品です。

石川善吉は浦賀の川間に住む代々の左官で、「伊豆の長八」と並び全国的に知られ「三浦の善吉」と称された鏝絵彫刻の名人でした。

●法幢寺（東浦賀2丁目）

きれいな水色の漆喰に浮き出る神獣唐獅子の鏝絵

バス通りに戻り前方にあるコンビニの前を右に入り東叶神社を目指します。10分程で東叶神社の手前、左手の階段を上る高台に法幢寺があります。

本堂正面の外壁には「岩田辰之助・徳太郎」兄弟合作の鏝絵があり、魔よけの神獣唐獅子が描かれています。大正15年（1926）の作です。

左官屋の名人芸である手の込んだレリーフは、寺社にとっては名誉ある装飾であると聞きます。また庶民の大衆芸術と評されています。

渡し舟で西岸へ。

●西叶神社社務所（西浦賀1丁目）

社務所の玄関上に欄間壁の鏝絵レリーフ。装飾壁の傑作と言われています。

昭和5年（1930）石川善吉の作。中国の故事『司馬温公のかめ割り』を描いています

●東福寺（西浦賀2丁目）

昭和8年（1933）岩田辰之助作の彩色鏝絵
8点が見事に描かれています

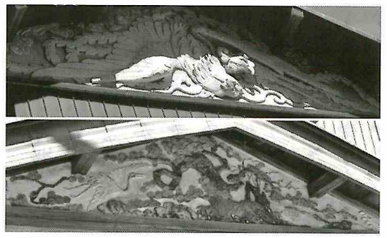
本堂の正面軒下に彩色鏝絵が8点施されています。

●榊神社と川間町内会館（西浦賀5丁目）

西叶神社から浦賀奉行所跡方面へ。跡地の中は現在歩けるようになっています。

その奉行所跡地の奥に川間の鎮守、榊神社大禄天があります。正面両脇に昭和5年（1930）に作成された「石川善吉・吉蔵」親子の漆喰鏝絵があります。昇り龍（善吉作）と降り龍（吉蔵作）の素晴らしいレリーフ作品です。

近くにある川間町内会館の切妻壁にも昭和34年（1959）に作成された「石川梅尾」の鏝絵がきれいに残っています。共に、よこすか景観賞を受賞しています。見学は自由にできます。



昭和34年（1959）石川梅尾作。町内会館の切妻壁
1階に松竹梅と鶴亀、2階に鳳凰の鏝絵がきれいに残っています

（広報部会　原）

広報部会施設レポ

障害者グループホームを訪ねて

ハーティーハウス浦賀

グループホーム・ハーティーハウス浦賀は、浦賀駅から浦賀インター方面へ徒歩6分程の所にあります。

障害者のグループホーム（共同生活援助）の男性棟です。定員数は7名で現在は4名の方が入居していますが、知的障害、精神障害の方で、共同生活が営める程度の方。週4日以上の日中活動の場を設けることができ、煙草を吸わない方が対象です。現在は横浜までの勤務の方や作業所に通われている方等が入居されているそうです。施設は、外見は普通のお宅ですが、室内は採光の良いお部屋に大きな収納を備えるお部屋等プライベートも確保されており、初めての一人暮らしの訓練として、不安な新生活を世話人さんの見守りの中で「自分で出来る」事を叶えられるようにと支援されています。

浦賀駅から徒歩6分程の立地です

共有スペースの行き届いた清掃は、世話人さんがとても家庭的な方が多く、朝夕二回の食事は、減塩等栄養を考慮した上の楽しみな、ホーム自慢の手作りです。

お風呂、洗濯等の共同使用のものは、使用方法をわかりやすく指導、順番表を掲示して入居者の方が不安にならないような工夫もされています。

今回、見学させていただいて一般のシェアハウスとなんら変わらない印象を受けました。交通の利便も良く、コンビニもいろいろあって、行動的になれそうな立地。充実した暮らしが見えるようでした。

入居前の体験利用もできるお部屋もあり、まだ空きもあります。身軽な準備で利用できるそうですので、ご相談下さい。

（広報部会　山本・門脇）

アットホームなダイニングルーム

●問い合わせ
ハーティーハウス浦賀
横須賀市浦賀1の10の6
☎046(827)7852
管理者　三宅

タウンスポット

新年の風物詩
鴨居港の日の出と斎燈（さいと）

編集後記

一面の取材で訪れた神社やお寺は長い階段が多いです。上って振り返れば青く光る海に出会えることも多いけれど…怯んでしまう。長い階段が多いのはなぜだろうと調べたら、一段上がるごとに、煩悩を払い清い心が生まれて行く。

また上る時には足元に気を付けるために視線が自然に下を向き敬う気持ちでお参りできるそうです。私のように「長いなあーまだ…」などと愚痴をこぼしちゃいけなかったのでした。

（門脇）

最近、我が町内のふれあいサロンではボッチャを楽しんでいます。会員が女性で高齢の為普段あまり体を動かしません。白いボール（目標球）をめがけて、赤・青それぞれ6球ずつボールを投げ、どれだけ的に近づけるかを競います。戦略とそれを実行するための技術力と集中力が必要となります。室内ででき、適度な運動量なので皆で楽しめています。

寒さを乗り切るため、栄養と休養をしっかりとり軽い運動をするなど、規則正しい生活を心掛けて体力をつけましょう。

（丸茂）

目の前で転んだ小学生に名前を訪ねた、君どこんちの子？「言えません個人情報だからと言われた！」。

その場面で「君どこの子？」と尋ねることは、確かに個人情報の取り扱いに関するルールに反する可能性があります。

そのため、子どもたちには個人情報についてのルールを教えることが大切です。具体的には、名前や住所、電話番号などの個人情報を、知らない人に教えてはいけないこと自分自身で個人情報を守ることが大切であることなどをわかりやすく説明することが必要です。

その上で、「どこか痛いところはないかな？」や「大丈夫？手伝ってあげようか？」というように、やさしい声掛けや手助けをすることで、傷ついた子どもたちを助けることができると思います。

（田京）

浦賀・鴨居地区 社会福祉推進委員連絡会全大会
令和6年9月17日（火）

浦賀コミュニティーセンターにおいて、浦賀・鴨居地区社会福祉推進委員連絡会全大会が開催されました。初めに青木会長から主催者挨拶がありました。

第1部　講演

「赤い羽根共同募金の使われ方」と題して浦賀地区社会福祉協議会会長青木健二氏より解説がありました。浦賀・鴨居地区で令和5年度募金額（603万円）がどのように使われているか説明されました。

赤い羽根共同募金で集まった募金の約8割は、募金をいただいた地域で使われます。残りの約2割は、皆さまの住んでいる市区町村を越えた広域的な課題を解決するための活動に、都道府県の範囲で使われています。しかし当地区は年々募金額が減少しておりさし迫った課題としています。

第2部　講演

「体操教室」と題して、ビーアウェイク代表取締役社長・久野秀隆氏より体操の実践を交えた講演がありました。椅子に座ったままできる体操と軽妙なトークで館内は盛況でした。

高齢者に寄り添った今回の体操は、参加者同士の繋がりがとても大切と思いました。

（広報部会　田京）

第22回観音崎フェスタ開催
令和6年11月3日（祝）

県立観音崎公園周辺において観音崎フェスタが開催されました。

文化の日に合わせて親子で楽しめるイベントとして開催し、今年で22年目を迎えます。

前日からの雨もあがり、この時期としては珍しく気温が25℃前後までになり、ひなたでは暑く感じる一日でした。

地元アイドルのステージで盛り上がる

すこし汗ばむ中7000人を超える参加がありました。

海上は強風のため灯台クルーズ船出航は中止になりました。

公園内の特設ステージでは地元鴨居小学校5、6年生（有志）によるソーラン踊り、地元の活動団体による民謡、フラダンスの発表や走水出身アイドルライブ等で盛り上がりました。また地元町内会・自治会を中心に模擬店が並び、たたら浜エリアでは、ステージ発表や観音崎自然博物館の開館、その他観音崎灯台特別公開、横須賀美術館の無料開館、観音崎スタンプラリー等、親子で楽しく過ごせるイベントとなり、盛況のうちに終わりました。

（広報部会　丸茂・戸原）

防災コラム　紙芝居の活用

今から63年前、自分が中2の頃、鉈でマキを割っていました。振り上げた鉈の先端部が指に落ち怪我をしました。血だらけの自分を見ていた父は笑って優しく介抱してくれたことを覚えています。

我が子には「やるな！」という自分の心の小ささに、今も亡くなった「父の大きさに」頭が下がります。

近年は、そんな発想（妄想）で世の中にはないものを作っては孫に渡すことが楽しみの一つになっています。

何かを生み出す、大切な何かを孫に継承できればと願っています。以前、孫たちには自分の中学時代の思い出話をよく話しました。何をすれば楽しいのか？進学したら部活はどこがいいのか？新しく友達ができ輪が広がるかも？等々。

現在、災害の怖さを紙芝居で教える防災紙芝居を低学年に観せようと画策しています。

津波についての紙芝居は、例えば「みずがくるぞ!!!」という防災紙芝居が公的にあります。幼稚園・保育園・小学校低学年・特別支援学校を対象としています。恐怖や不安をあおることなく、自然との共生の視点から、内容や見た目の構成を考えた、脅さない防災教育を念頭に置いています。また、仙台管区気象台が作成した「つなみからにげよう」という紙芝居。幼稚園児～小学校低学年を対象としたひとつの例です。

津波のしくみと、その危険性を絵で理解させ、津波発生時には一刻も早く高台などに逃げること。そして津波の襲来が報道されるとき、自発的に、あるいは先生や周りの大人たちと共に避難行動に移ることを目的に、この紙芝居を活用し、子供たちの防災意識を高めてはどうでしょう。

（民生委員児童委員　田京）

紙芝居の中のひとこま

シリーズ わがまちを語る31

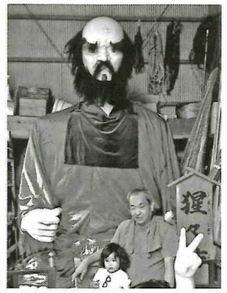
東浦賀一丁目町内会
会長　伊勢田　克己

東浦賀一丁目町内会は浦賀駅から南東方向に約900mと細長い地形で現在の世帯数は143世帯で、東浦賀の4町内では面積・世帯数とも一番大きな町内です。

浦賀駅から約800mの山の中腹に八雲神社があります。八雲神社の中には、古くから当町内に伝わる、お神輿をはじめ、木彫りの厄除け人形「猩々坊（しょうじょうぼう）」、東の青龍・西の白虎・南の朱雀・北の玄武の四神が収蔵されています。当町内も少子高齢化が進み子ども達が減少しており、これらを八雲神社の祭礼時に引き回すことが困難な状況となっています。

町内の活動は、年2回の町内清掃、八雲神社祭礼、東叶神社祭礼、浦賀みなと祭り、防災訓練、観桜会、東一まつり等、年度初に計画を立て活動しています。

これからは若い人達の意見要望を取り入れ活気ある町内にするよう努めていきます。



猩々坊

児童福祉部会活動現場から
親と子の工作教室
令和6年10月20日（日）

浦賀コミュニティセンター集会室において児童福祉部会主催、第10回「親と子の工作教室」を開催いたしました。

横須賀・三浦建設業人材育成支援センターの方々のご協力のもと、会場いっぱいの参加者にご指導いただきました。

毎年人気の工作教室

毎年人気のミニ3段飾りや長イス、今年初の銅板など、皆さん熱心に製作していました。

約2時間後には自分たちで作った大作に素敵な笑顔がたくさん見られました。

「また来年も参加したい！」といった子ども達のうれしい感想をもらい、怪我もなく終了しました。

普段、体験することの少ない木工に興味を持ってもらえたらと思います。

（児童福祉部会　篠原）

オムツ類が在庫ひっ迫

浦賀地区社会福祉協議会のボランティア部会では、介護用品を譲って頂き、必要な方に差しあげる「ゆずゆず」と呼ばれる活動を行っています。

皆様のご協力で、お蔭様で必要な方々に差し上げることができました。引き続きオムツなどお待ちしております。

お持ちくださるのが困難の場合はこちらから伺います。

「ゆずゆず」ボランティアセンター
連絡先　ボランティアセンター
☎046(844)0294　（担当　柴田）

ボランティアのつどい
令和6年12月17日（火）

浦賀コミュニティーセンターにおいて、浦賀地区社会福祉協議会ボランティア部会主催の「ボランティアのつどい」を開催しました。初めに主催者側挨拶、浦賀地区社協青木会長、つづいて長谷川副会長より講演に先立ち、熱きお言葉を頂きました。

行政からは須山副館長より日頃のボランティア活動の活性化にエールを頂きました。

イベント　その1

コモンフラガールの吉井澄恵様によりフラダンスグループを紹介、指先までに微妙に演出する繊細なフラダンスを披露されました。全員のアンコールにもお応えいただきホットしたひとコマでした。

イベント　その2

浦賀地域包括支援センターの紹介により、笑い療法士の川村崇子先生による笑いトレ講座「高齢者を元気にする笑い塾」をご指導いただきました。先生の演出の中に高齢化に負けない健康とは？のヒントがありました。ひとつは「教室座りでは顔が見えません、大きな円になりましょう！」。

もうひとつは「人の脳、左と右ではそれぞれ役目があります。今日は左と右で違う事をしてみましょう、日頃していない動きからひょっとすると何か大切なことを掴めるかもしれません！」。日頃、無い体験が驚きの中はじまりました。

笑いの中に何かを見つける、これもひとつの「気づき」ではないでしょうか。先生の関西弁に戸惑いながら、日頃の笑いの少なさを感じられました。

（ボランティア部会　飯田）

日赤社員増強運動にご協力ありがとうございました。

社員　日本赤十字社

実施期間：令和6年5月1日～6月30日
件　　数：12,427件
金　　額：5,840,796円

日本赤十字社神奈川県支部
横須賀市地区

共同募金にご協力ありがとうございました。

実施期間：令和6年10月1日～10月31日
件　　数：11,950件
金　　額：5,214,068円

浦賀地区社会福祉協議会